

人権と共生社会

「人権ってなぜ必要？だれが必要？」

本単元で育成する資質・能力

情報活用能力・思考力・表現力

- 1 日時 平成29年10月4日（水） 5時間目
- 2 学年・学級 3年A組（男子14人 女子16人 計30人）
- 3 単元名 公民的分野 第2章 個人の尊重と日本国憲法
2節 人権と共生社会（東京書籍）

4 本単元を指導するにあたって

本単元は、「人間の尊重と日本国憲法の基本原則」の理解を通して、民主的な見方や考え方の基礎を養う単元である。

中学校学習指導要領解説社会編の公民的分野2（3）には、「内容の『（1）私たちと現代社会』の「イ 現代社会をとらえる見方や考え方」の学習の成果を生かし、政治に関する様々な事柄や課題について、対立と合意、効率と公正などの見方や考え方と関連付けて理解させたり、考えさせたり、判断させたりするようにする。さらに、理解した内容や考えたり判断したりした過程や結果を、まとめさせたり発表させたりするように指導することをねらいとしている。」とある。

グローバル化、少子高齢化、情報化の進展により変化の激しい現代社会においては、多様性が認められる風潮がある。しかし、認められるのは、あくまで自身に直接的に影響を及ぼさない限定的な範囲での多様性であることが多く、自身に直接的に影響を及ぼす社会的事象との対立が、現代社会の不安定化をまねく一因となっている。本単元では、生徒が自己の視点からだけでなく、様々な視点から社会的事象を多角的に考察し、表現する学習を通して、人間の尊重を核心とする基本的人権の理念を理解するとともに、民主的な見方や考え方の基礎を養いたい。

本学年の生徒の平成28年度三次市学力到達度調査の結果を以下に示す。

- ・社会科の学力調査の正答率が60%以上であった生徒が66.1%
- ・社会科の学力調査の正答率が40%未満の生徒が5.0%
- ・質問紙調査で「社会の勉強をしたことで、生活の中で役に立つと感じることはありますか」との問いに否定的な回答をした生徒が46.5%

これらの結果から、基礎的・基本的な学力を身に付けている生徒は多いが、社会科の学習と実社会とのつながりを感じられない生徒が半数程度いることが課題であると考えた。そのため、3年の4月から週2回、新聞記事の要約と記事に対する感想を書く宿題を課し、社会的事象に対する関心を高め、それらに対する知識を増やす機会を継続的に設けてきた。

これらを踏まえ、本単元では、生徒の既存の知識や人権感覚を基に考察できる、身近な社会的事象を取り上げ、深く考察し、交流し、表現する活動を通して、社会の形成者として多様性を受け入れ共生社会の実現をめざしていく態度を養いたい。

【生徒の主体的な学びを促すポイント】

- 課題に対して、様々な見方や立場から追究する学習。
- 宿題として取り組んだ新聞記事の内容と記事に対する感想を思考の根拠とし、新たな課題に対して判断する学習。
- 課題に対する解決策を個人や集団で考察し、表現する学習。

【基礎・基本の定着】

(1) 習得すべき基礎・基本について

- 基本的人権の考え方や個人の尊重，法の下での平等の原理についての理解
- 平等権をめぐる現代社会の諸課題とそれらに対する法整備の理解
- 自由権の種類とその内容の理解
- 社会権の種類とその内容の理解
- 参政権と請求権の種類とその内容の理解
- 公共の福祉と国民の義務の理解

(2) 定着への手立て

- 授業と家庭学習を連動させ，問題集に取り組みせ，学習内容の理解を深める。
- 授業開始時に語句の確認ペアワークを繰り返し行い，知識の定着を促す。

5 単元の目標

- 個人が尊重され，共に助け合って生きる社会(共生社会)を実現するために必要なことについて，意欲的に考えたり話し合ったりしている。【関心・意欲・態度】
- さまざまな基本的人権に関わる課題と，それらに対する取組について，複数の資料を用いて多面的・多角的に考察して表現している。【思考・判断・表現】
- 教科書や新聞記事等から，基本的人権に関する情報について有用な情報を選択し，読み取り，整理し，まとめている。【技能】
- 日本国憲法に定められた基本的人権について，具体的な生活と関連付けて理解するとともに，自由・権利と責任・義務の関係を社会生活の基本として正しく理解し，その知識を身に付けている。【知識・理解】

6 単元の評価規準

ア 社会的事象への関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断・表現	ウ 資料活用の技能	エ 社会的事象についての知識・理解
①具体的な事例を通して人権問題に関心を持ち，その現状や背景，解決への取り組みについて意欲的に追究している。	①具体的な事例をとおし，自由権について多面的・多角的に考察し，適切に表現している。 ②社会権をめぐる課題について，どのような解決策があるのか考察している。 ③共生社会の実現のため，人権の必要性について多面的・多角的視点から考察し，適切に表現している。 ④公共の福祉による人権の制限はどの程度まで許されるのか，具体的な事例をとおして考察している。	①統計資料から，経済格差の拡大や生存権の課題について有用な情報を選択し，読み取っている。 ②参政権や請求権が果たす役割について，複数の資料を読み取り，2つの権利の必要性を文章でまとめている。	①基本的人権の種類や個人の尊重という考え方に対して理解し，その知識を身に付けている。 ②教育，勤労，納税等の国民の義務について理解し，その知識を身に付けている。

7 本単元を通して伸ばしたい資質・能力

※塩町中学校区では、小中9年間で身に付けさせたい9つの能力を定めています。(◎重点)

塩町中学校区9能力				
① 情報活用能力 (調べてまとめる力)	○	④判断力 (自分で決める力)		⑦体力・継続力 (ねばり強くやりきる力)
② 発見力 (見つける力)		⑤表現力 (伝える力)	○	⑧人間関係形成能力 (人とかかわる力)
③ 思考力 (考える力)	◎	⑥将来設計能力 (なりたい自分を描く力)		⑨生活力 (学んだ事を生かす力)

- ① 情報活用能力・・・教科書や新聞記事等から得た情報を、思考の根拠とすることができる。
- ③ 思考力・・・知識や情報を比較、関連付けて考察することができる。
- ⑤ 表現力・・・思考の結果得た知識を、分かりやすく伝えることができる。

8 指導と評価の計画 (全7時間)

次	学習内容 (時数)	評 価				
		関	思	技	知	評価規準 (評価方法)
1	帯 語句の確認ペアワーク ○「基本的人権の尊重」～人権は身近なものなのか?～ ・一日の生活の中のどの場面で、どのような人権が関係しているのか考察し、理解する。 (1)				○	エ① (テスト)
2	帯 語句の確認ペアワーク ○「平等権」 v s 「自由権」 ～ヘイトスピーチは認められるのか?～ ・ヘイトスピーチを肯定する立場、否定する立場、それぞれの根拠について考察を通して、2つの権利のあるべき姿について表現する。 ・ヘイトスピーチへの対策とその有用性について考察する。 (2)	○	○			イ① (ワークシート・発表の様子) ア① (ワークシート)
3	帯 語句の確認ペアワーク ○「社会権」～教育を受ける権利は保障されているのか?～ ・「経済格差」「教育格差」に関する資料を読み取る。 ・「格差」を縮小するための対策とその有用性について考察する。 (1)		○	○		ウ① (ワークシート) イ② (ワークシート・発表の様子)
4	帯 語句の確認ペアワーク ○「共生社会と私たち」 ～人権はなぜ、だれにとって必要なのか?～ ・権利の必要性を様々な視点から考察し、表現する。		○			イ③ (ワークシート・発表の様子)

人権ってなんで必要？だれが必要？

～権力者 X からの手紙～

あなたは新日本国憲法の原案を考える委員の 1 人に選ばれました。新日本国憲法では、多くなりすぎた権利の削減を考えています。次の 6 つの権利の 1 つを「**必要でない権利**」として省き、国民が納得できる理由を考え、10月4日の「新日本国憲法制定会議」で発表してください。

(A 平等権 B 精神の自由 C 身体の自由 D 経済活動の自由 E 生存権 F 教育を受ける権利)

～「新日本国憲法制定会議」にて～

会議では、それぞれの委員が考えた「**必要でない権利**」とその理由について発表しましたが、あなたが「**必要でない権利**」とした権利と違う権利を「**必要でない権利**」と主張した委員の意見には納得がいきません。あなたがその権利は**必要である**と考える理由を説明し、意見を撤回させてください。

評価指標 (ループリック)

A (素晴らしい)	・ B の条件を満たしている。 ・ 共生社会 (違いを受け入れ、共に作り上げる社会) の実現に向けて、個人の尊重の重要性について理解し、表現している。
B (良い)	・ 自分以外の視点から人権の必要性について理解し、表現している。
C	・ B に達しない。

(1 / 1 本時)

5	<p>帯 語句の確認ペアワーク</p> <p>○「参政権」「請求権」～2つの事例から考察する～</p> <p>・新聞記事をもとに、参政権と請求権がどのように人権保障と結びついているか考察し、文章でまとめる。</p> <p>(1)</p>				○	ウ② (ワークシート・発表の様子)
6	<p>帯 語句の確認ペアワーク</p> <p>○「公共の福祉」</p> <p>～権利と権利が対立したらどうするのか？～</p> <p>・公共の福祉による人権の制限について、バイパス建設を例に考察する。</p> <p>○国民の義務とその必要性について理解する。</p> <p>(1)</p>				○	イ④ (ワークシート・発表の様子) エ② (テスト)
後日	単元末確認テスト				○	エ①② (テスト)

9 本時の展開 (5/7)

(1) 本時の目標

社会生活に必要な権利に優先順位を付けることを通して、基本的人権や個人の尊重の原理に対して理解を深め、共生社会の実現について、社会の形成者としての立場から考察し、表現している。

(2) 観点別評価規準

共生社会の実現のため、人権の必要性について多面的・多角的視点から考察し、適切に表現している。【イ③】

(3) 準備物

教科書, ワークシート, テレビ

(4) 学習の展開

	学習活動	主な発問・指示 (○) 予想される生徒の反応 (☆) 「C」と判断される生徒への手だて (◆) 指導上の留意点 (●)	評価規準 (評価方法)
導入	<p>帯 語句の確認ペアワーク</p> <p>○前時の学習内容を確認する。</p> <p>○課題を発見する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 人権が守られていない様子が映った写真, 資料を複数あげる。 	<p>○憲法が施行されて70年以上経ちますが, 人権が守られていない現状が世の中にはあります。</p>	
展開	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>めあて: 人権は, なんのために必要なのか, 自分の考えを表現しよう。</p> </div> <p>人権ってなんで必要? だれが必要?</p> <p>～権力者 X からの手紙～</p> <p>あなたは新日本国憲法の原案を考える委員の1人に選ばれました。新日本国憲法では, 多くなりすぎた権利の削減を考えています。次の6つの権利の1つを「必要でない権利」として省き, 国民が納得できる理由を考え, 10月4日の「新日本国憲法制定会議」で発表してください。</p> <p>(A 平等権 B 精神の自由 C 身体の自由 D 経済活動の自由 E 生存権 F 教育を受ける権利)</p>		
	<p>○個人で思考する。</p>	<p>○「必要でない権利」を1つあげ, そう考えた理由や, そういった考え至った根拠となる具体的な出来事を知っていればあげなさい。</p> <p>◆教科書や, ワークシートを確認させる。</p> <p>☆A 現在も差別は存在しているから, 憲法に書いたところで意味がないから。</p> <p>B 宗教対立などを生み出す原因になるから。</p> <p>C 逮捕令状を請求する前に, 犯人が逃げってしまう可能性があるから。</p> <p>D 就きたい仕事がないから。</p>	

<p>○同じ権利を「必要でない権利」としたメンバーでグループを作り、集団で思考を深める。</p> <p>○グループごとに発表する。</p> <p>○パフォーマンス課題</p> <p>○ループリックを知る。</p>	<p>E 貧しい生活は努力不足であって自己責任だから。</p> <p>F 勉強したくないから。</p> <p>○グループの人たちとの意見交流を通して、他のグループを納得させられる理由や根拠となる具体的な出来事をあげなさい。</p> <p>◆話型を示す。</p> <p>○なぜ「必要でない権利」としたか、根拠を明らかにして主張しなさい。</p>	
--	---	--

～「新日本国憲法制定会議」にて～

会議では、それぞれの委員が考えた「**必要でない権利**」とその理由について発表しましたが、あなたが「**必要でない権利**」とした権利と違う権利を「**必要でない権利**」と主張した委員の意見には納得がいきません。あなたがその権利は**必要である**と考える理由を説明し、意見を撤回させてください。

評価指標（ループリック）

<p>A (素晴らしい)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ Bの条件を満たしている。 ・ 共生社会（違いを受け入れ、共に作り上げる社会）の実現に向けて、個人の尊重の重要性について理解し、表現している。
<p>B (良い)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分以外の視点から人権の必要性について理解し、表現している。
<p>C</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ Bに達しない。

<p>○グループごとに必要性を考える権利を分担する。</p> <p>○個人で思考する。</p>	<p>○グループごとに必要であると考えた権利を分担します。まずは個人でその理由と根拠を考え、続いてグループで意見交流をします。</p> <p>○他のグループは「必要でない権利」としましたが、あなたは必要であると考えた理由や、そういった考えに至った根拠となる具体的な出来事を知っていればあげなさい。</p> <p>◆教科書や、ワークシートを確認させる。</p> <p>☆A いじめやヘイトスピーチを認めてしまうことになるから。</p> <p>B 独裁国家になってしまう可能性があるから。</p> <p>C 冤罪が多く発生する可能性があるから。</p> <p>D 就きたくない仕事に就かされる可能性があるから。</p>	<p>共生社会の実現のため、人権の必要性について多面的・多角的視点から考察し、適切に表現している。</p> <p>【イ③】 (ワークシート・発表の様子)</p>
---	---	--

	<p>○集団で思考を深める。</p> <p>○グループごとに発表する。</p>	<p>E 病気やけが等で働けなくなる可能性があるから。</p> <p>F 教育を受けたくても受けられない人が出てきてしまうから。</p> <p>○グループの人たちとの意見交流を通して、その権利を「必要でない権利」としたグループを納得させられる理由や根拠となる具体的な出来事をあげなさい。</p> <p>◆話型を示す。</p> <p>○なぜ必要な権利としたか、根拠を明らかにして主張してください。</p>	
<p>まとめ</p>	<p>○本時の学習内容を振り返る。</p>	<p>○人権はなんのために必要なのか、自分の考えを説明しよう。</p>	<p>共生社会の実現のため、人権の必要性について多面的・多角的視点から考察し、適切に表現している。</p> <p>【イ③】 (ワークシート)</p>